

秋さけ漁業調整対策事業調査 一抄録一

三戸 芳典・田村 亘・藤田 修央

発 表 誌 名

平成元年度秋さけ漁業調整対策事業報告書（青森県）

抄 録

1. 太 平 洋

- ① 本県六ヶ所村地先において、平成元年10月中旬から12月中旬の間に700尾の秋さけ親魚を標識放流し、193尾が再捕され、再捕率は27.6%であった。
- ② 193尾のうち本県での再捕は120尾で62.2%、岩手県では72尾で37.3%、山形県では1尾で0.5%であった。
- ③ 岩手県での再捕は調査期間中見られ、一昨年からの放流結果も合わせて考慮すると、本県太平洋側における秋さけ資源は本県産及び本県外産由来のさけにより構成されているものと予想された。しかし、これらの量的関係を推定するには今後データを蓄積していくことが必要であると思われた。

2. 日 本 海

- ① 本県西津軽郡深浦町風合瀬地先において、平成元年10月下旬から11月上旬の間に240尾の秋さけ親魚を標識放流し97尾が再捕され、再捕率は40.4%であった。
- ② 97尾のうち本県再捕は57尾で54.6%、秋田県再捕は43尾で44.3%、新潟県再捕は1尾で1.0%であった。
- ③ 秋田県での再捕は男鹿半島北側での再捕が多く、一昨年からの放流結果も合わせて考慮すると、放流地点周辺から秋田県入道崎にかけては、本県産及び本県外産由来の秋さけ資源により構成されているものと予想された。しかし、これらの量的関係を推定するには今後データを蓄積していくことが必要と思われた。